

# 水質検査センター建屋漏水対策修繕工事

## 設計図面リスト

設計図面					
図面番号	図面名	縮尺	図面番号	図面名	縮尺
A-01	特記仕様書 (1)	-	A-11	建具表	1 : 100
A-02	特記仕様書 (2)	-	A-12	展開図	1 : 100
A-03	特記仕様書 (3)	-	A-13	部分詳細図	1 : 10
A-04	特記仕様書 (4)	-	A-14	仮設計画配置図 (参考図)	1 : 400
A-05	配置図・付近見取図	1 : 400	A-15	仮設計画図 1 (参考図)	1 : 150
A-06	1・2階平面図	1 : 150	A-16	仮設計画図 2 (参考図)	1 : 150
A-07	屋根伏図・仕上表	1 : 150			
A-08	1・2階天井伏図	1 : 150	M-01	屋上空調設備図・詳細図	1 : 150
A-09	立面図	1 : 150			
A-10	断面詳細図	1 : 30			

工事名		水質検査センター建屋漏水対策修繕工事		特記仕様書	
I. 工事概要					
1. 工事場所	宮古長町一丁目 地内	(用途地域)	準工業地域	防火地域	指定なし
2. 敷地面積	9,380.95㎡				
3. 工事種別	改修工事				
4. 工事規模	試着造2階建て 建築面積: 269.40㎡ 延床面積: 504.60㎡				
5. 工事範囲					
水質検査センター 建物屋根・外壁改修					
同上内部壁・天井改修					
上記に伴う、撤去工事及び仮設工事					

II. 改修工事仕様	
①. 共通仕様	
図面、特記仕様書及び現場説明事項に記載されていない事項は、国土交通大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（最新版）」（以下「改修標仕」という。）による。	
ただし、改修標仕に規定されていない項目以外は、国土交通大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（最新版）」（以下「標準仕様書」という。）による。	
②. 特記仕様	
(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。	
(2) 特記仕様は、○印の付いたものを適用する。	
○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。	
○印と◎印の付いた場合は、共に適用する。	
(3) 特記仕様書に記載の「 」内表示番号は、改修標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。	
「 」内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。	
(4) [G]印は、「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（令和4年2月閣議決定）」に定める判断の基準を満たす物品を示す。	

章	項	目	特記事項	
1 各章共通事項	①. 適用基準	図面、本特記仕様書、標準仕様書及び改修標準仕様書に記載のない事項は次の基準による	○建築物解体工事共通仕様書（最新版） 国土交通大臣官房官庁営繕部	
	②. 工事実績情報（工事カルテ）	本設計図書における「標準詳細図」他は、次の基準による。	建築工事標準詳細図（最新版） 国土交通大臣官房官庁営繕部整備課	
	③. 発生材の処理等	引渡しを要するもの ※なし ・あり（ 種類: 処理方法: ）		
		特別管理産業廃棄物 ※なし ・あり（ ）		
		※上記以外の発生材は、可能な限り中間処理施設等において再利用・減量化等を図るものとし、処理方法等は監督員と協議する。		
		現場において再利用を図るもの ※現場における分別・保存材は、分別する。		
④. 施工管理技術者		○本工事で発生する建設廃棄物のうち、岩手県内の最終処分場（中間処理施設経由を含む）に搬入される産業廃棄物については、岩手県産業廃棄物税が課税されるので適正に処理すること。	[1.3.2]	
5. 電気保安技術者		・適用する	[1.3.3]	
⑥. 技能士			[1.6.2]	
		通用工事種別	種 別	技能検定の作業の種別
		仮設工事	とび	○とび作業
		鉄筋工事	鉄筋施工	・鉄筋組立て作業
		コンクリート工事	型枠施工 コンクリート圧送施工	・型枠工事作業 ・コンクリート圧送工事作業
		鉄骨工事	鉄 工	・構造鉄工作業
		コンクリートブロック 丸ひねり、押出成形 セメント板工事	ブロック建築 エーエルシーパネル 施工	・コンクリートブロック工事作業 ・エーエルシーパネル工事作業
		防水工事	防水施工	・アスファルト防水工事作業 ・クレタシゴム系塗膜防水工事作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業 ○塩化ビニル系シート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業 ○シーリング防水工事作業 ・改質アスファルトシート・トーチ工法防水工事作業 ・FRP防水工事作業
		石 工 事	石材施工	・石張り作業
		タイル工事	タイル張り	・タイル張り作業
		木 工 事	建築大工	・大工工事作業
		屋根・とい工事	建築板金	○内外装板金作業
		スレート施工	スレート施工	・スレート工事作業
		金属工事	内装仕上げ施工	・鋼製地下工事作業
		左官工事	左 官	・左官作業
		サッシ施工	サッシ施工	・ビル用サッシ施工作業
		建具工事	ガラス施工 自動ドア施工	・ガラス工事作業 ・自動ドア施工作業
		カーテンウォール工事	カーテンウォール施工	・金属製カーテンウォール工事作業
		塗装工事	塗 装	○建築塗装作業 ・プラスチック系床仕上げ工事作業 ・カーベット系床仕上げ工事作業 ○ボード仕上げ工事作業 ○壁紙作業
		内装工事	内装仕上げ施工	・建築配管作業
		表 装	表 装	○壁紙作業
		排水工事	配 管	・溶融ベントハンドマーカー工事作業 ・溶融ベントマシンマーカー工事作業
		舗装工事	路面標示施工	・造園工事作業
		植栽工事	造 園	・造園工事作業

1-2	⑦. 施工条件	施工順序に制約がある場合 [1.3.5] その他の施工条件 [1.3.5] ○内装工事においては、精密機器等あるので細心の注意を払い施工すること。 [1.3.5] 工事車両駐車場、資機材置場について [1.3.5]
一 般 共 通 事 項	⑧. 建築材料等	(a) 原則として、全ての材料について監督員の承認を受ける。 [1.4.1] (b) 現場への配慮 ※改修標仕 1.4.1 による
	⑨. 特別な材料の工法	改修標仕に記載されていない特別な材料の工法は、材料製造所の指定する工法とする。 [1.4.2]
	10. 石綿含有建材の調査	事前調査 [1.5.1] ※石綿含有建材の事前調査 工事着手に先立ち、目視及び貫する設計図書等によって石綿を含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査する。 調査範囲（ ・ 図示 ） 貫す資料（ ） ・分析による石綿含有建材の調査 分析対象 アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイト、クロソライト及びトセラライト 分析方法
	⑩. 施工図及び施工計画書	サンプル数 1箇所あたり3サンプル 採取箇所 ・ 図示 [1.2.3] 施工図及び施工計画書の提出について (a) 施工図及び施工計画書は、各工程において作成し提出する。 (b) 施工図の記載内容及び記載水準は、建設大臣官房官庁営繕部監修「建築・設備工事施工図の描き方（平成元年）」に準ずるものとする。 (c) 本工事に係る施工図及び施工計画書の著作権の権利は、当該建物における使用に限り発注者に委譲するものとする。 (d) 提出部数は、監督員の指示による。
	⑪. 完成時提出図書	工事完成時の提出図書 [1.9.1][表1.9.1] ※標準仕様書 9.2及び9.3による。 完成図の提出 (3)部 提出仕様 ○紙ベース ○電子データ ・ ) [1.9.3] 保安に関する資料の提出 (1)部 提出仕様 ○紙ベース ○電子データ ・ ) 完成写真 撮影箇所及び提出サイズ、仕様 ※監督員の指示による ・
	13. 設備工事との取合い	施工範囲 ・ 図示した貫通孔、開口部の型枠及びそれらの補強 ・ 図示した壁、天井の仕上り、下地材の切り込み及び下地材の補強 ・ 駆動装置が電動による建具類の2次配線及び操作スイッチ ・ 自動閉鎖装置取付け箇所の切り込み及び補強 ・ その他指示するところ 施工図 設備機器の位置、取合い等が検討できる施工図を提出して、監督員の承認を受ける。
	15. 施工調査	施工数量調査 [1.6.2] 調査範囲 ・ 図示 調査方法 ・ 図示 既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ・ 図示 調査報告書の提出部数 ・ 2部 [1.6.3]

2	①. 監督員事務所	・ 設ける (規模及び仕上げの程度並びに設置する備品の種類・数量等は現場説明書による)	[2.4.1]				
設 工 事	②. 工事用水	構内既存の施設 ・ 利用できる（ ・ 有償 ・ 無償） ○ 利用できない					
	③. 工事用電力	構内既存の施設 ・ 利用できる（ ・ 有償 ・ 無償） ○ 利用できない					
	4. 騒音・粉じん等の対策	・ 防音パネル ・ 防音シート 防音パネル等を取り付ける足場等の設置箇所 ※図示	[2.1.3]				
	⑤. 足場等	内部足場 ○設置する(※脚立、足場板等 ・ ) ○設置しない 外部足場 ○設置する(○枠組足場 ・ 単管足場 ・ ) ○設置しない 防護シートによる養生 ○行う○工事に必要な範囲 ・ ) 材料、撤去材等の運搬方法 種別 ○A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種 C種: 利用可能なエレベーター( ) D種: 利用可能な階段( )	[2.2.1][表2.2.1]				
	⑥. 既存部分の養生	養生の方法等 [2.3.1] ・ 既存部分 ・ 既存家具、既存設備等 ・ 既存プライド、カーテン等 ・ 備品、机、ロッカー等の移動 ( ・ 図示 ) 既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。 仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所 ・ 図示 [2.3.2] 仮設間仕切りの種別と材質等 [表2.3.1]					
		種別	下地	仕上材 (厚さ mm)	塗装	充填	
		○A種	・ 不	○せっこうボード (9.5mm)	○無し	ガラスウール 厚さ mm	
		○B種	※ 軽量鉄骨	・ 合板 (9mm)	○無し	・ 片面	
		○C種	単管	防炎シート			
			仮設間仕切りに設ける仮設扉の材質等	材質	仕上げ	塗装	備考
				※ 木製	※合板張り程度	・ 無し	・ 片面

3	①. 既存防水層等の処置	既存保護層の撤去 ・ 行う (範囲 ・ 図示 ・ ) [3.2.3~6] 既存防水層の撤去 ・ 行わない ・ 行う (範囲 ・ 図示 ・ ) ○行わない (風除室屋根は下地勾配調整あり) 既存露出防水層表面の仕上げ塗装除去 ・ 行う ( ・ M4AS ・ M4AS1 ・ M4C ・ M4D1 ・ L4X ) ・ 行わない 既存防水層の地下補修 既存地下の補修箇所の形状、長さ、数量等 ・ 図示 ・ 改修用2重ドレン ・ 設ける (POAS, POAS1, POD, POD1, POS, POS1, POXの場合) POS工法及びPOS1工法 (機械式固定方法)の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とし立上り部等の処理 ※改修標準仕様書 3.2.6(4)(ウ) (g) ① ~ ③ による [3.3.2~5] [表3.3.3~10]
防 水 改 修 工 事	2. アスファルト防水	屋根保護防水 防水層の種類 工法 種別 施工箇所 断熱材 [G] 絶縁用シート 立上り部の保護 ・ P2A ・ A-1 ・ A-2 ・ A-3 ※フラットヤーン厚さ 0.15mm以上 ・ P1B ・ B-1 ・ B-2 ※フラットヤーンクロス 70g/㎡程度 ・ P2A1 ・ A1-1 (材質) ※JIS A 9521による押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種 bA(スキン層あり) ※フラットヤーンクロス 70g/㎡程度 ・ A1-2 ・ A1-3 ・ P1B1 ・ B1-1 ・ B1-2
		改質アスファルトルーフィングシート及び部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による 平場の保護シートへの厚さ こて仕上げ ※水下 80mm以上 タイル張り ※水下 60mm以上 ・ 乾式保護材 ・ 産業系パネル: 無石種の繊維質原料等を主原料として板に押出成形し、オートクレーブ養生したもの ・ 産業系パネルⅠ類 (寒冷地仕様) ・ 産業系パネルⅡ類 (一般地仕様) ・ 金属複合板: 金属板と樹脂を一体化させたもの。表面材は不燃 衝撃靱性500g

3	②. 改質アスファルトシート防水	屋根露出防水 防水層の種類 工法 種別 施工箇所 断熱材 [G] 高日射反射率防水の適用 [G] 備考 ・ M4C ・ C-1 ・ C-2 ・ C-3 ・ C-4 ・ M3D ・ POD ・ D-1 ・ D-2 断気装置 ・ 設ける ・ 設けない 改修用ドレン ・ 設ける ・ 設けない ・ P0D1 ・ D1-1 断気装置 ・ 設ける ・ 設けない 改修用ドレン ・ 設ける ・ 設けない ・ M4D1 ・ D1-2 (材質) ※JIS A 9521による発泡プラスチック断熱材とする。ただし、硬質ウレタンフォーム断熱材1種又は2号で透湿係数を除くJIS規格に準ずるもの。 (種類) ※ 図示 (厚さ) ・ 25mm
		仕上塗装の種類及び使用量 ※アスファルトルーフィング製造所の指定による 断気装置の種類及び設置数量 ※アスファルトルーフィング製造所の指定による 屋根露出防水絶縁断熱工法の場合の、ルーフトレイン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ※図示 屋内防水 防水層の種類 [表3.3.1, 表3.3.10] 工法 種別 施工箇所 保護層 ・ PIE ・ E-1 ・ P2E ・ E-2 ・ 設ける ・ 設けない
		押さえ金物の材質、形状寸法 ※ アルミニウム製、L=30×15×2.0mm程度 壁上排水溝 ・ 適用する (施工範囲 ・ 図示 ・ ) ・ 適用しない

3	③. 改質アスファルトシート防水	防水層の種類 [3.4.2~3][表3.4.1~3] 工法 種別 施工箇所 断熱材 [G] 高日射反射率防水の適用 [G] 備考 ・ M4AS ・ AS-T1 ・ AS-T2 ・ AS-J2 ・ M4AS ・ AS-T3 ・ AS-T4 ・ POAS ・ AS-U1 ・ AS-U3 ・ ASI-T1 ・ ASI-J1 (材質) ※JIS A 9521による発泡プラスチック断熱材とする。ただし、硬質ウレタンフォーム断熱材1種又は2号で透湿係数を除くJIS規格に準ずるもの。 (厚さ) ・ 25mm ・ 50mm
		仕上塗装の種類及び使用量 ※改質アスファルトシートの製造所の指定による 断気装置の種類及び設置数量 ※改質アスファルトシートの製造所の指定による 部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による 屋根露出防水絶縁断熱工法の防湿用シート ・ 設置する ・ 設置しない 押さえ金物の材質、形状寸法 ※ アルミニウム製、L=30×15×2.0mm程度

3-2	④. 合成高分子系ルーフィングシート防水	防水層の種類 [3.5.2~4][表3.5.1~3] 工法 種別 施工箇所 断熱材 [G] 仕上塗料 高日射反射率防水の適用 [G] 備考 ・ POS ・ S4S ・ S-F1 ・ S-F2 ・ S-M1 ・ S-M2 ○図示 断気装置 ・ 設ける 改修用ドレン ・ 設ける ・ 設けない ・ S3S ・ S-F1 ・ S-F2 (P2)付+下地 断気装置 ・ 設ける 改修用ドレン ・ 設ける ・ 設けない ・ M4S ・ S-M1 ・ S-M2 断気装置 ・ 設ける ・ 設けない ・ POS1 ・ S3S1 ・ S1-F1 ・ S1-F2 ※改修標準仕様書表3.5.2より (厚さ) ・ 25mm ・ S4S1 ・ M4S1 ・ S1-M1 ・ S1-M2 ※改修標準仕様書表3.5.2より (厚さ) ・ 25mm 断気装置 ・ 設ける ・ 設けない 改修用ドレン ・ 設ける ・ 設けない 屋内防水 防水層の種類 PIS工法の種別 施工箇所 保護層 平場のモルタル塗り 立上り部の保護モルタル塗り ・ S-C1 断気装置 ・ 設ける 改修標準仕様書表3.5.6(2)(イ)及び(ウ)に準ずる 6.15.6(2)(イ)及び(ウ)に準ずる ※7mm以下
	5. 塗膜防水	絶縁用シートは、発泡ポリエチレンシート 断気装置の種類及び設置数量 ※ルーフィングシート製造所の指定による 接着工法のP/Cコンクリート下地の目地処理 P/Cコンクリート部材の入隅部の増張り P/Cコンクリート部材 (種別S-F1, S1-F1の場合)の入隅部の増張り ・ 行う (※図示) ・ 行わない 機械式固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付けは、建築基準法により定まる風圧力に対応した工法 ○図示による [3.6.2~3][表3.6.1~2]
	⑤. シーリング	シーリング工法の種類 ・ シーリング充填工法 ○ シーリング再充填工法 ・ 協働シーリング再充填工法 ・ ブリッジ工法 ボンドブローカー張り ・ 適用する ・ 適用しない エッジング材張り ・ 適用する ・ 適用しない シーリング材の種類、施工箇所 下表以外は、改修標仕 表3.7.1による。 施工箇所 シーリング材の種類 (記号) 外壁目地・建具廻り ポリウレタン (PU) サッシガラス廻り 変成シリコン (MS) ペントキャップ廻り他 変成シリコン (MS)

3-2	⑥. シーリング	シーリング材の目地寸法 ・ 図示による ・ コンクリート打継ぎ目地及びびり割れ目地は幅20mm以上、深さ10mm以上、ガラス回りは改修標仕5.14.3「ガラス溝の寸法、形状等」による場合を除き、深さ共5mm以上とする。それ以外は幅・深さも10mm以上とする シーリング材の接着性試験 ○適用しない [※ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験 (部位 ) ] ○適用しない [3.8.2~3][表3.8.1~4]
	⑦. とい	といの種 ・ 配管用鋼管 ○硬質ポリ塩化ビニル管 ・ 表面処理鋼板 ・ 表面及び裏面の塗装の種類 ( ) ・ 耐熱被覆鋼板 (製造所: ) 多雪地域の軒どり取付け関係 ・ 適用する ・ 適用しない 鋼管製といの防風巻き ※ 行う (施工箇所 ※改修標準仕様書 表3.8.4による) 防露材のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ 既存のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法 ※ 図示 壁補修金物の材質、形状、取付け関係 ※改修標準仕様書 表3.8.2による

3-2	⑧. アルミニウム製 笠木	ルーフトレイン 種 別 材質 透換付幅 ○ろく屋様用 (○縦型 ・ 横型) ○塩ビ製改修用ルーフトレイン ○100mm以上 ・ 50mm以上 ・ ハルコニー用 ・ 100mm以上 ・ 50mm以上 ・ ハルコニー中継用 ・ 100mm以上 ・ 50mm以上 ルーフトレインの取付け ※改修標準仕様書 3.8.3 (6) による ・ 図示 部材の種類 ・ オープン形式 ( ・ 押出し 250形 ・ 押出し 300形 ・ 押出し 350形 ) ・ 板材折り曲げ形 ( ・ オープン形式 ・ シール形式 ) 本体幅 ( ) mm 板厚 ( ※ 2.0 ) mm 表面処理 種別 (改修標準仕様書表5.2.2より) ・ 種 着色 ・ 標準色 ( ) ・ 特注色 ( ) 既存笠木等の撤去 ・ 行う (範囲 ・ 図示 ・ ) ○既存撤去・再取付 ・ 行わない 地下補修の工法 ※図示 板材折り曲げ型木の取付方法 ※図示 笠木の固定金具の工法 建築基準法に基づく風圧力に対応した工法 ※図示 ○ 提出する (10年) ・ 提出しない
-----	---------------	--

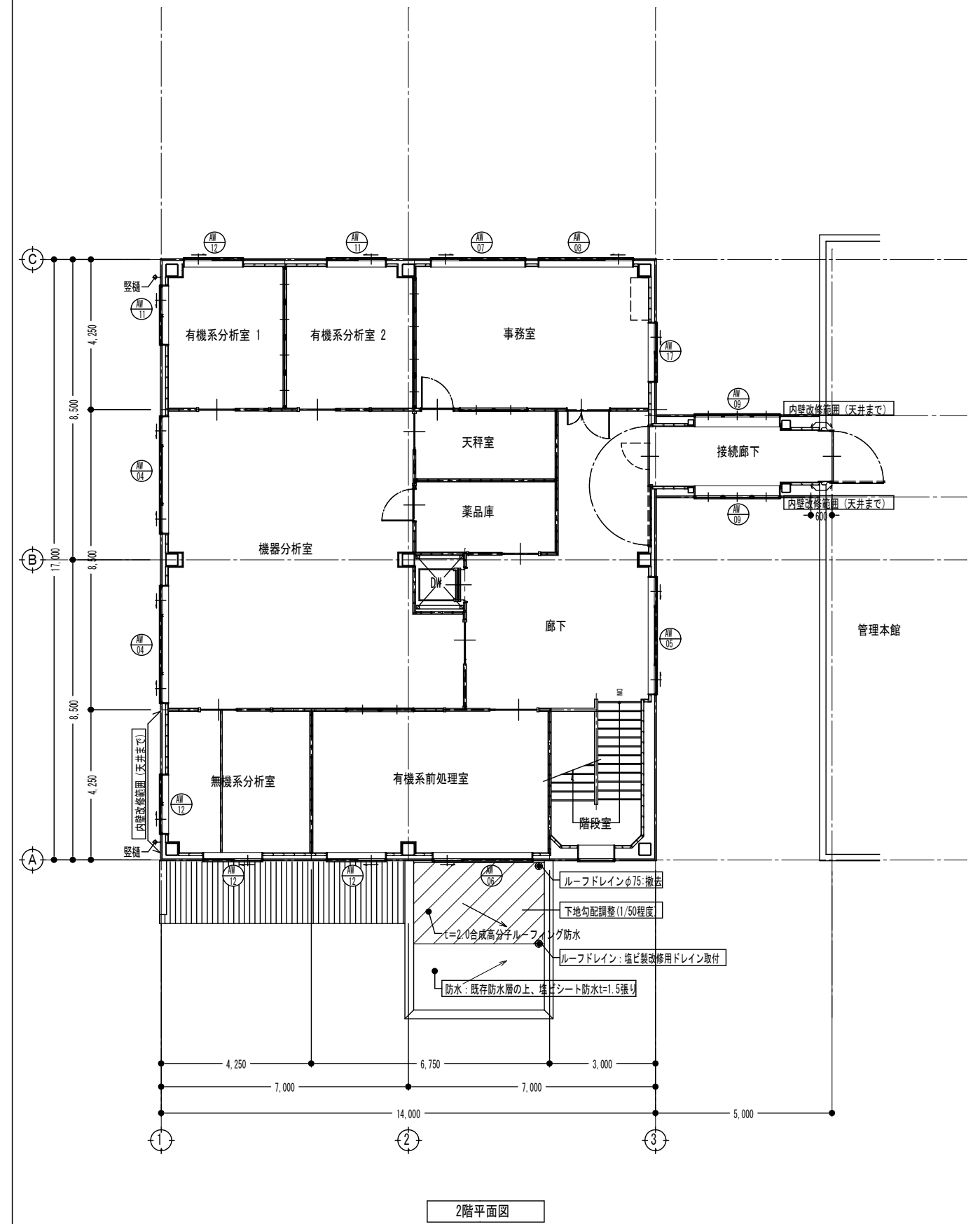
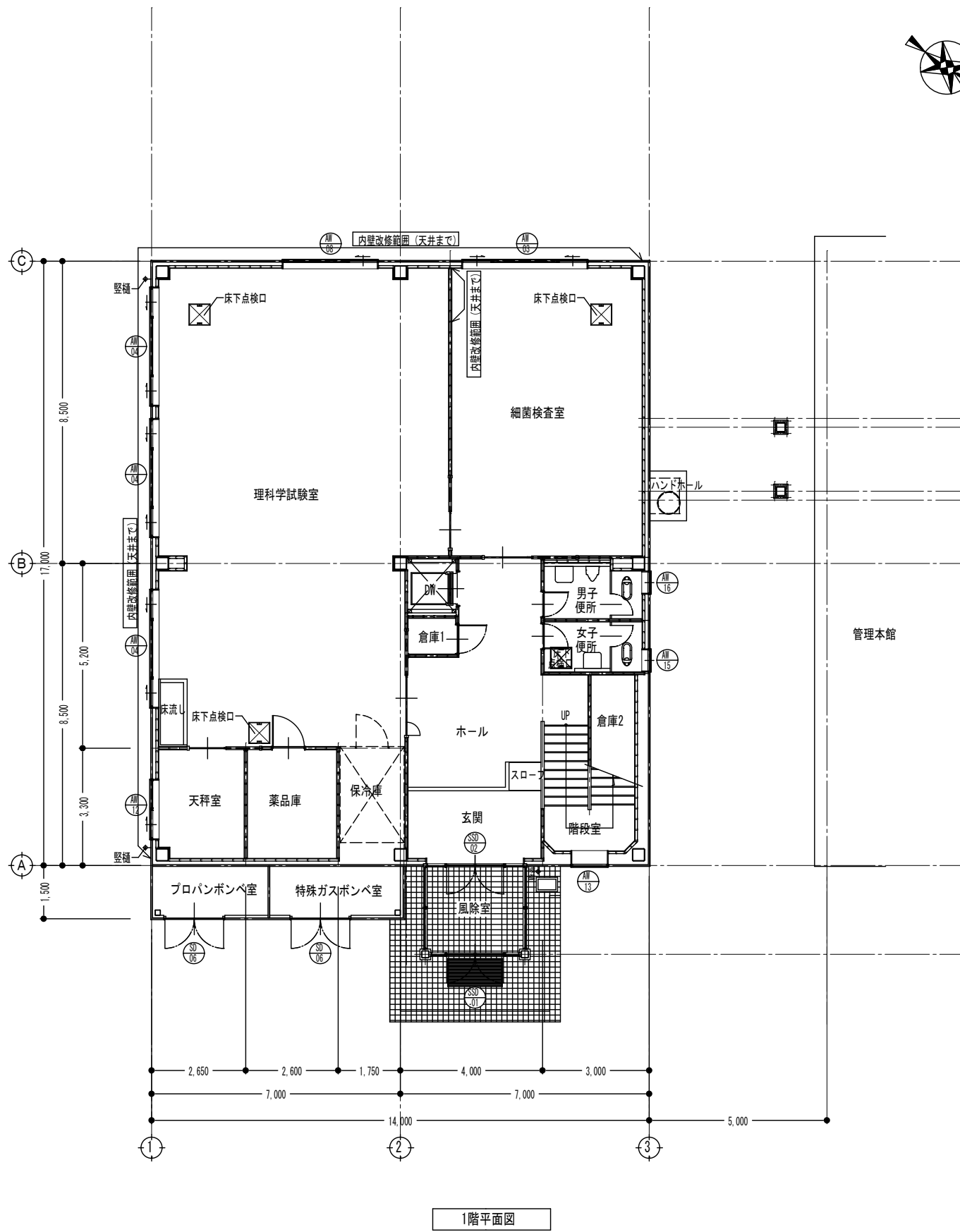
水質検査センター建屋漏水対策修繕工事	管理建築士	承認	検印	製印	改定番号	改定月日	改定内容	特記	図面内容	縮尺 A3	業務番号	図面区分 建築意匠	図面番号 A-16 枚の内 01
特記仕様書 (1)													



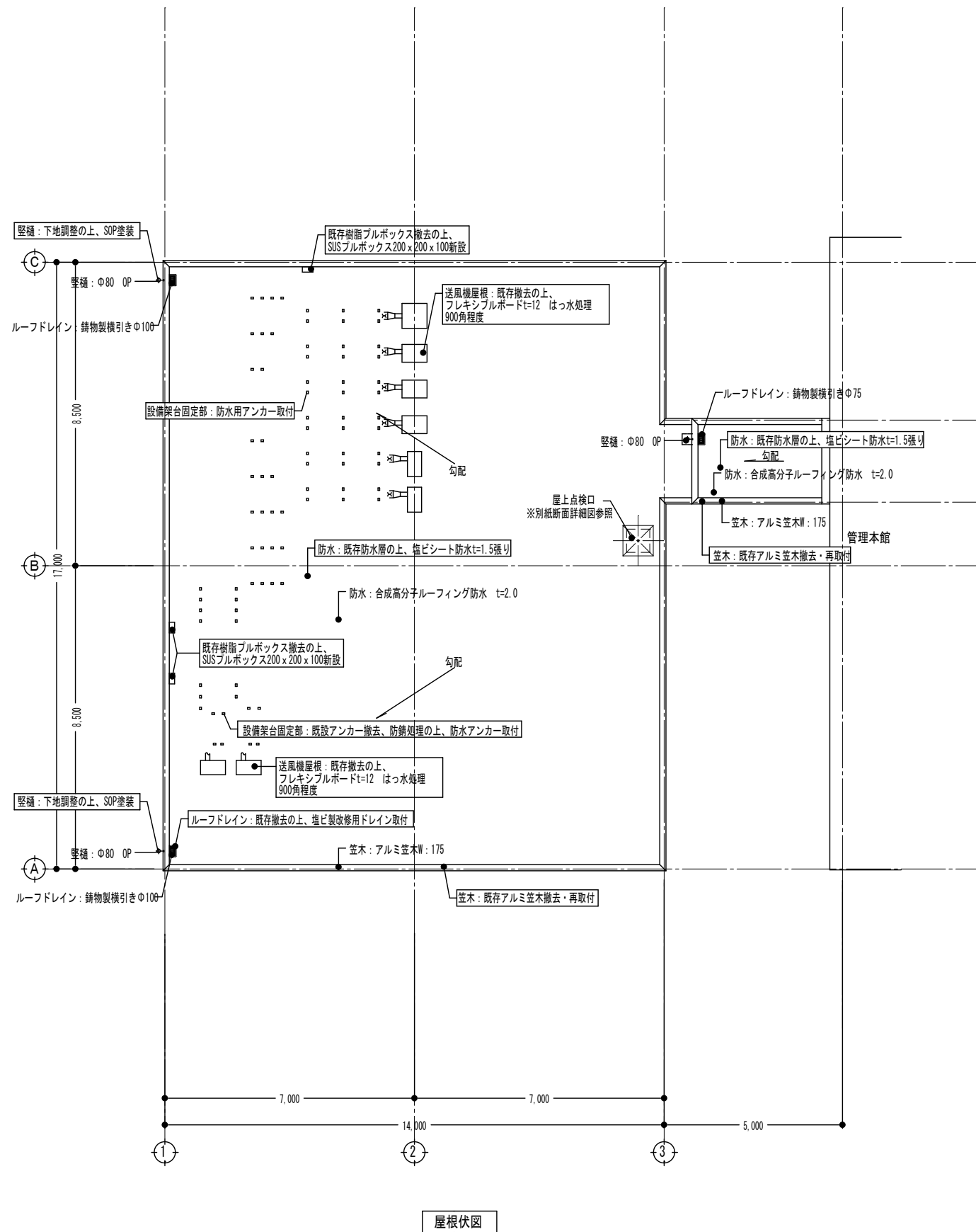








水質検査センター建屋漏水対策修繕工事	管理建築士	承認	検図	製図	改定番号	改定月日	改定内容	特記 □ : 囲み箇所は改修内容を示す ▨ : 改修範囲を示す(内容は仕上表参照)	図面内容 1・2階平面図	縮尺 A3 1:150	業務番号
											図面区分 建築意匠



屋根伏図

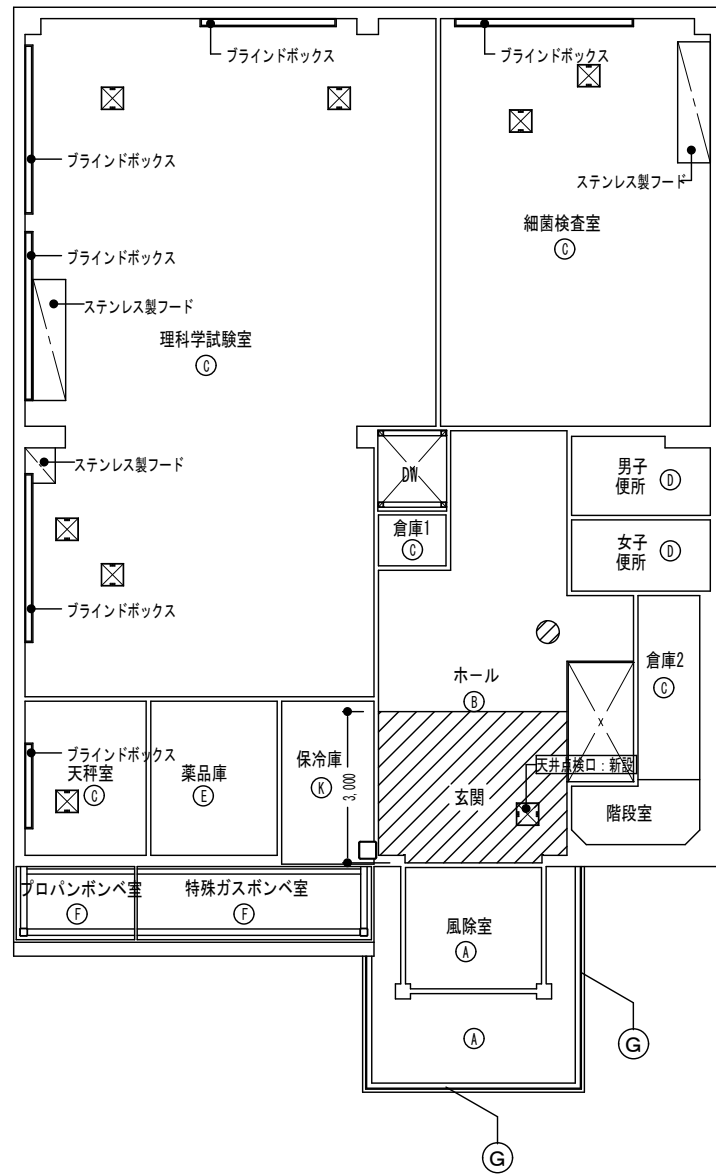
外部仕上表

	改修前	改修後	備考
屋根	コンクリート金ゴテ下地の上、合成高分子シート防水 t=2.0張り 絶縁材: ポリエチレンフィルムt=0.15 笠木: アルミ既製品 W=175 ルーフトレイン: 鋳物製横引きφ75 縦樋: 白ガス管φ80 OP	既存防水層の上、塩ビシート防水t=1.5張り 設備架台固定部: 防水用アンカー取付 笠木: 既存アルミ笠木撤去・再取付 ルーフトレイン: 既存撤去の上、塩ビ製改修用ルーフトレイン取付 縦樋: 下地調整の上、SOP塗装 送風機屋根: 既存撤去の上、フレキシブルボードt=12 はっ水処理 900角程度	
風除室 屋根	デッキプレートt=50の上、コンクリート (ワイヤーメッシュ75×75×3.2)、 均しモルタルt=20下地合成高分子シート防水 t=2.0張り	既存防水層の上、下地勾配調整の上、塩ビシート防水t=1.5張り 既存鉄板水切り撤去・防水施工後、アルミ製水切り取付 (シーリング共) ルーフトレイン: 既存撤去の上、塩ビ製改修用ルーフトレイン取付	
接続廊下 屋根	デッキプレートt=50の上、コンクリート (ワイヤーメッシュ75×75×3.2)、 均しモルタルt=20下地合成高分子シート防水 t=2.0張り	既存防水層の上、塩ビシート防水t=1.5張り 笠木: 既存アルミ笠木撤去・再取付 ルーフトレイン: 既存撤去の上、塩ビ製改修用ルーフトレイン取付	
軒天井 (玄関庇)	ポーチ: 金属成形板張り 接続廊下下部: フレキシブルボードt=5.0目透かし張り、EP ボンベ庫: 屋根あらし	ポーチ: 既存のまま 接続廊下下部: 一部既存撤去の上、フレキシブルボードt=5.0目透かし張りEP塗装 ボンベ庫: 既存のまま	
外壁	押出成形セメント板t=50横張り パルコニー一部化粧り付板t=50張りの上、 偏光性塗料フラット仕上げ ポーチ庇幕板: ボンデ鋼板t=1.6加工 焼付塗装 目地: ポリサルファイド系シーリング	高圧洗浄・下地調整の上、外壁アクリルゴム系塗膜防水 JIS A 6021 (樹脂量55%以上) 防水保証10年 ポーチ庇幕板: 既存素地ごしらえの上、DP塗装 目地: 既存撤去の上、ポリウレタン系シーリング充填	
開口部	アルミサッシ: シルバー見込枠70 ステンレスサッシ: 見込枠100 (SUS304) スチールフラッシュドア: 見込枠100 建具廻り: ポリサルファイド系シーリング 建具廻り上下: ボンデ鋼板t=1.6加工FP (4)	各建具: 既存のまま 建具廻り目地: 既存撤去の上、ポリウレタン系シーリング充填 建具廻り上下ボンデ鋼板: 既存撤去の上、アルミパネルt=2.0取付 (裏面発泡ウレタン吹付)	
その他			

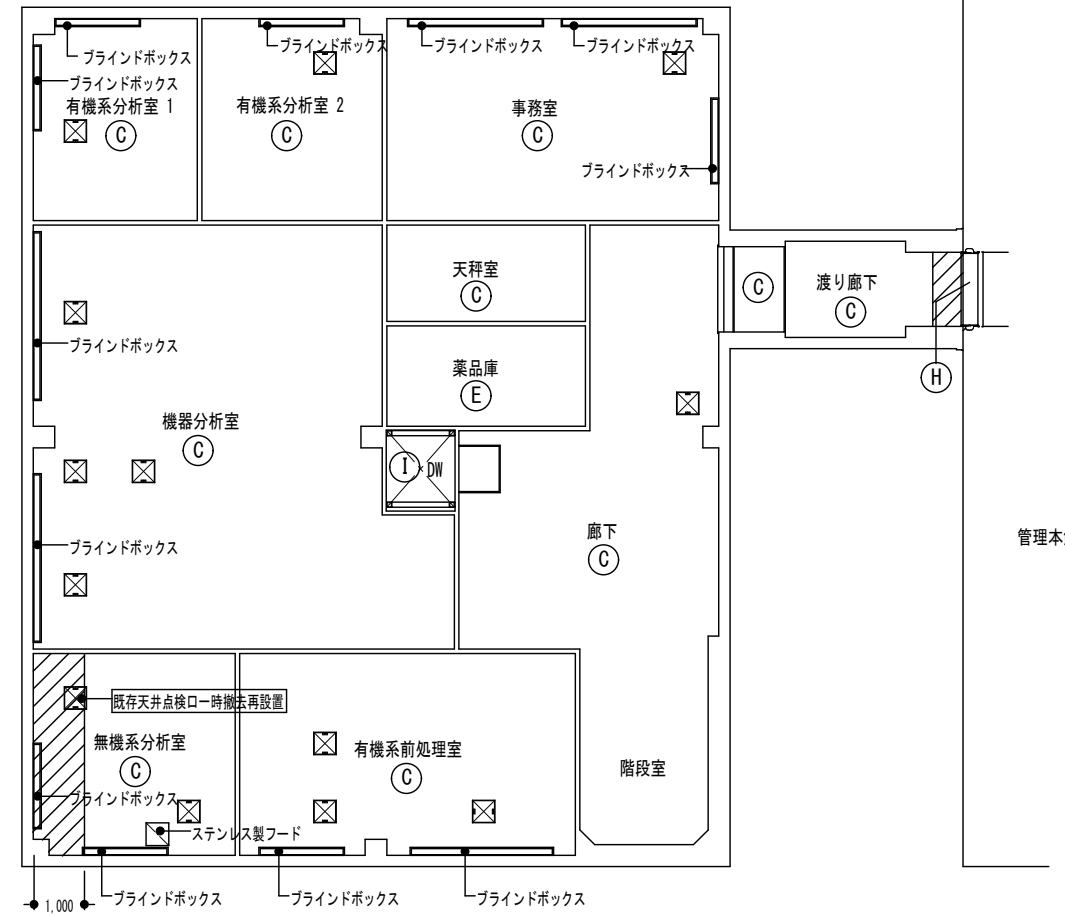
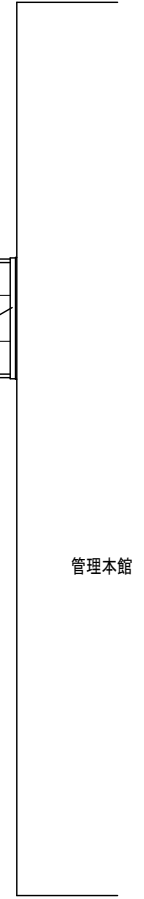
内部仕上表

階数	床		巾木		壁		廻縁		天井		天井高	
	改修前	改修後	改修前	改修後	改修前	改修後	改修前	改修後	改修前	改修後		
1	玄関	150角磁器質タイル張り	既存のまま	ステンレスHL H=100	既存のまま	石膏ボードt=12張り 下地、EP塗装	既存のまま	7&M製既製品	一部、既存撤去の上7&M製既製品取付	石膏ボードt=9.0下地の上、ロックウール化粧吸音板t=12張り	石膏ボードt=9.0下地の上、ロックウール化粧吸音板t=12張り	2,800
	ホール	ビニル床シートt=2.0張り	既存のまま	ビニル巾木 H=75	既存のまま	石膏ボードt=12張り 下地、EP塗装	既存のまま	7&M製既製品	一部、既存撤去の上7&M製既製品取付	石膏ボードt=9.0下地の上、ロックウール化粧吸音板t=12張り	一部、既存天井材撤去の上、石膏ボードt=9.0下地、ロックウール化粧吸音板t=12張り	2,700
	細菌検査室	ビニル床シートt=2.0張り	既存のまま	ビニル床シート立上げ	一部、既存一旦剥離の上復旧	石膏ボードt=12張り 下地、EP塗装	一部、既存上材・断熱材撤去の上、石膏ボードt=12張り下地EP塗装 グラスウール100mm16kg充填	塩ビ既製品 (突付型)	既存のまま	化粧石膏ボードt=9.0張り	既存のまま	2,700
	理学試験室	ビニル床シートt=2.0張り	既存のまま	ビニル床シート立上げ	一部、既存一旦剥離の上復旧	石膏ボードt=12張り 下地、EP塗装	一部、既存上材・断熱材撤去の上、石膏ボードt=12張り下地EP塗装 グラスウール100mm16kg充填	塩ビ既製品 (突付型)	既存のまま	化粧石膏ボードt=9.0張り	既存のまま	2,700
	天秤室	ビニル床シートt=2.0張り	既存のまま	ビニル床シート立上げ	一部、既存一旦剥離の上復旧	石膏ボードt=12張り 下地、EP塗装	一部、既存上材・断熱材撤去の上、石膏ボードt=12張り下地EP塗装 グラスウール100mm16kg充填	塩ビ既製品 (突付型)	既存のまま	化粧石膏ボードt=9.0張り	既存のまま	2,700
2	無機系分析室	ビニル床シートt=2.0張り	既存のまま	ビニル床シート立上げ	一部、既存一旦剥離の上復旧	石膏ボードt=12張り 下地、EP塗装	一部、既存上材・断熱材撤去の上、石膏ボードt=12張り下地EP塗装 グラスウール100mm16kg充填	塩ビ既製品 (突付型)	一部、既存撤去の上、塩ビ既製品取付	化粧石膏ボードt=9.0張り	一部、既存天井材・断熱撤去の上、石膏ボードt=9.5張り グラスウール100mm16kg充填	2,700
	接続廊下	ビニル床シートt=2.0張り	既存のまま	ビニル巾木 H=75	一部、既存撤去の上、ビニル巾木 H=75	石膏ボードt=12張り 下地、ビニルクロス貼	一部、既存上材・断熱材撤去の上、石膏ボードt=12張り下地EP塗装 グラスウール100mm16kg充填	塩ビ既製品 (突付型)	一部、既存撤去の上、塩ビ製見切り取付	化粧石膏ボードt=9.0張り	一部、既存天井材・断熱撤去の上、石膏ボードt=9.5張り グラスウール100mm16kg充填	2,500

※改修範囲は展開図・天井伏図参照

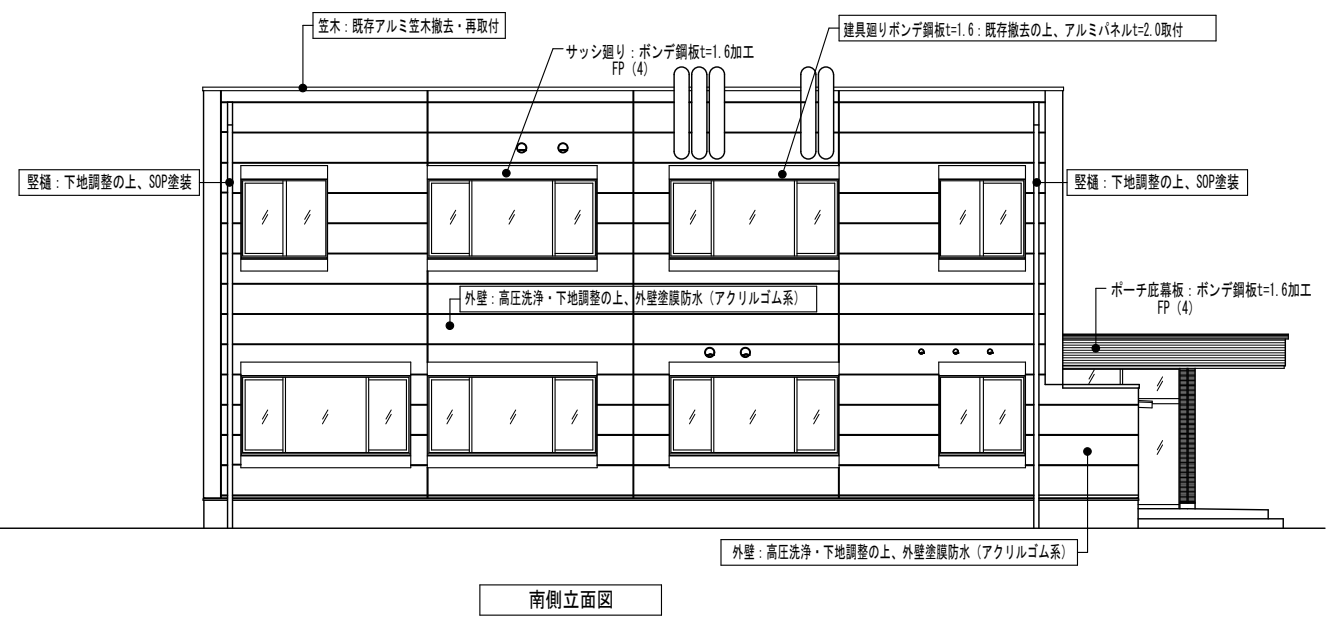
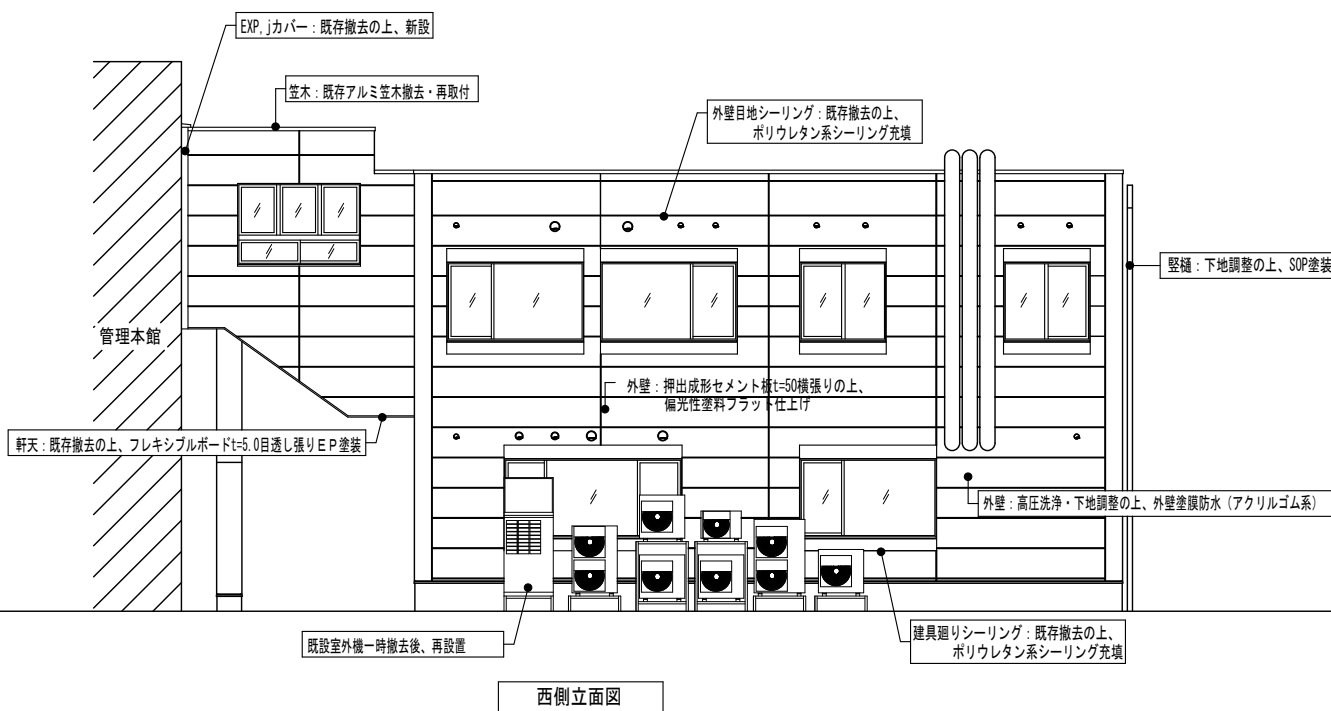
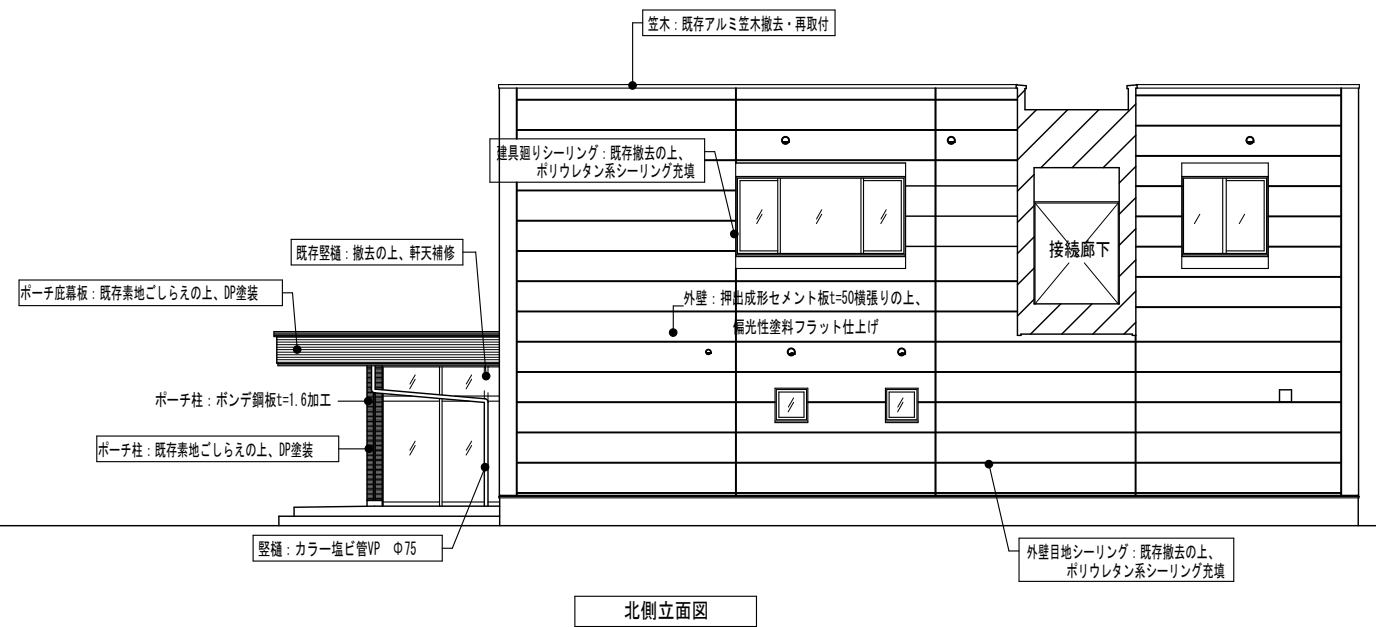
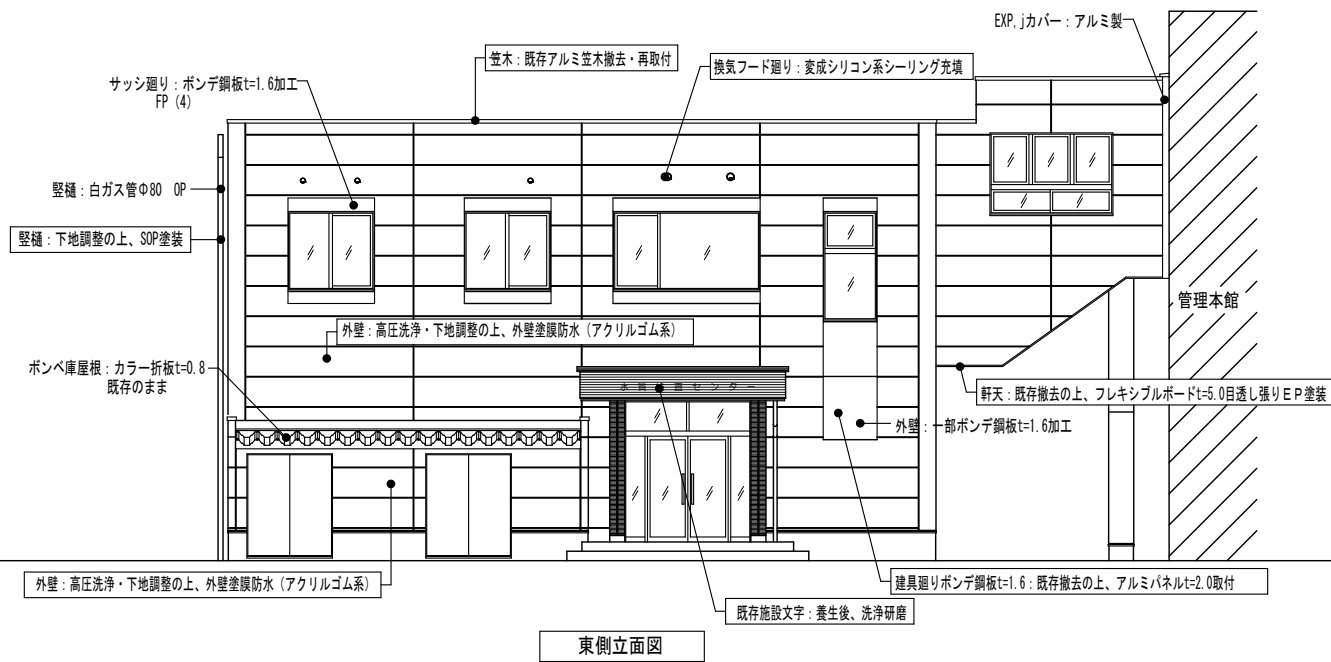


1階天井伏図



2階天井伏図

記号	既存 凡例	新規 凡例
Ⓐ	金属成形板	-
Ⓑ	ロックウール化粧吸音板	石膏ボードt=9.5下張りの上、ロックウール吸音板t=12張り
Ⓒ	化粧石膏ボード	化粧石膏ボードt=9.5直貼り (910×455)
Ⓓ	ケイカル板 EP	天井スレートボード張りt=5.0張り(渡り廊下)
Ⓔ	ケイカル板 VP H型ジョイナー	-
Ⓕ	折板 顕し	-
Ⓖ	(ア) 1.6 ボンデ鋼板加工 焼付塗装	-
Ⓗ	EXP-J (D-2)	-
Ⓘ	デッキプレート 顕し	-
☒	天井点検口 450×450	天井点検口 450×450

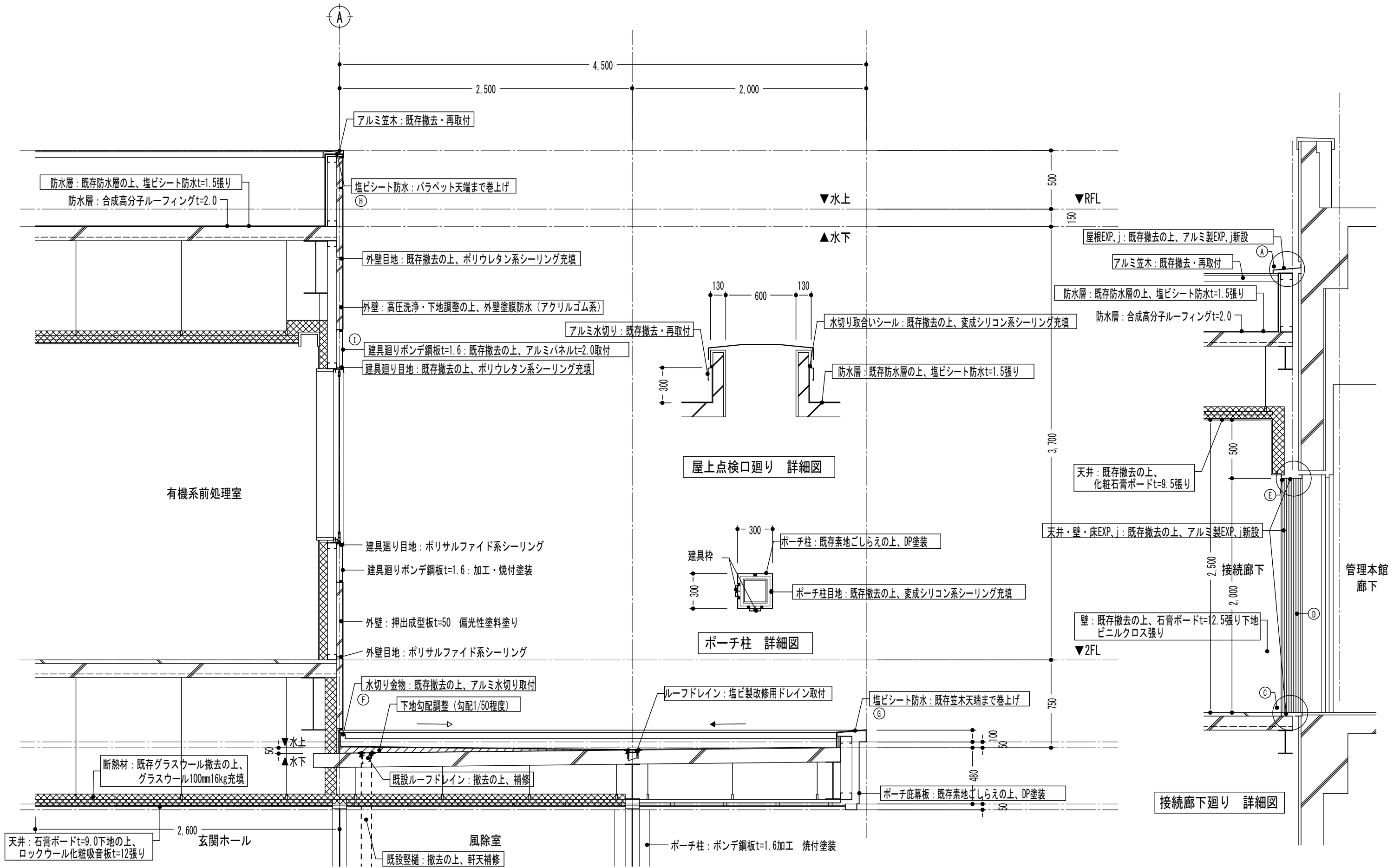


管理建築士	承認	検閲	製図	改定番号	改定月日	改定内容

特記  
 : 囲み箇所は改修内容を示す

図面内容  
 立面図

縮尺 A3 1:150	業務番号 図面区分 建築意匠
図面番号 A-16 枚の内 09	

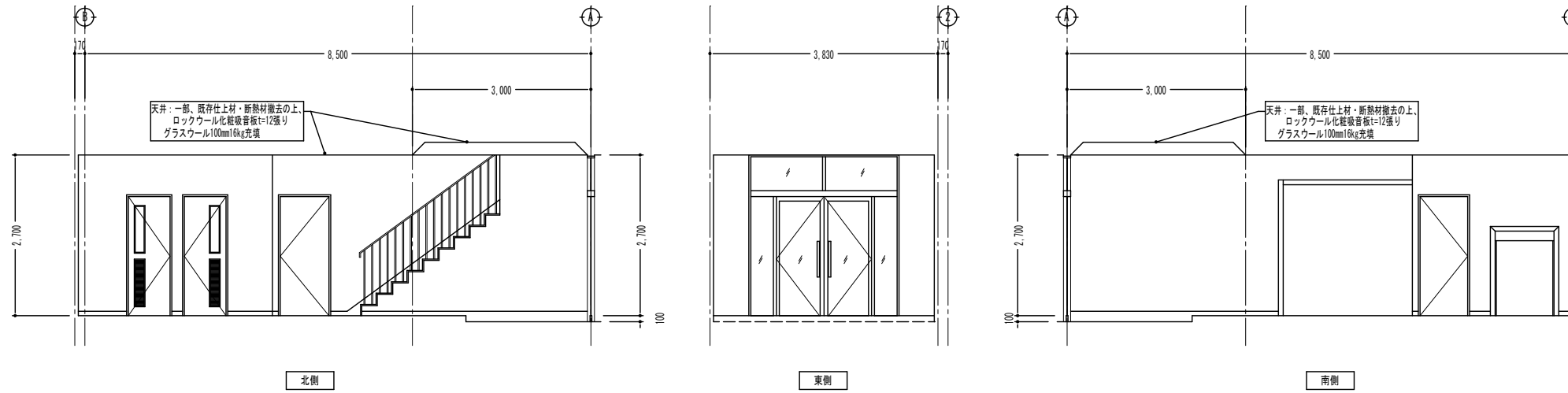


管理建築士	承認	検閲	製図	改定番号	改定月日	改定内容

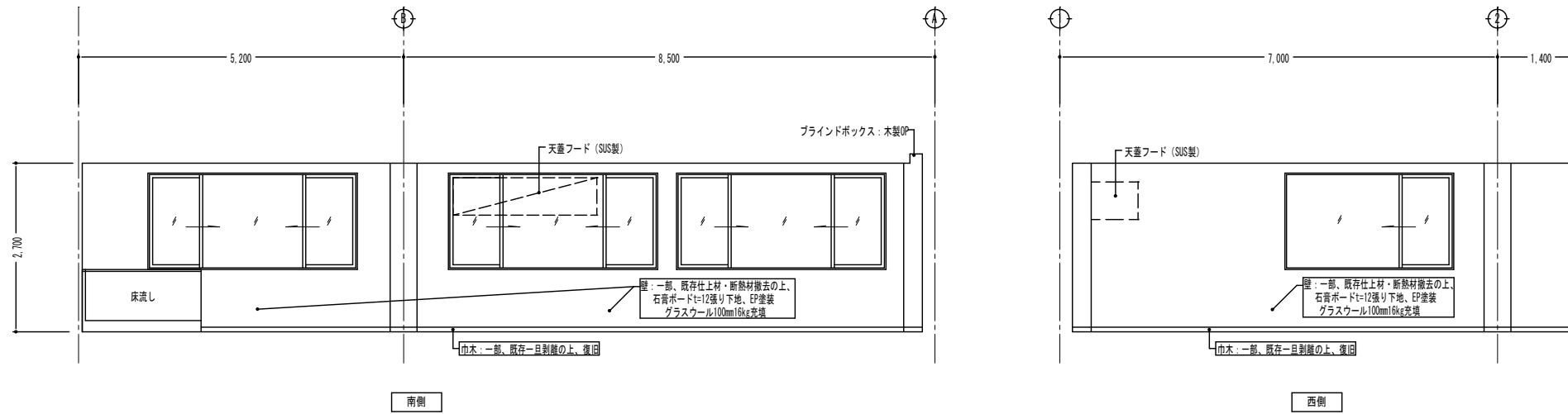
特記  
 : 囲み箇所は改修内容を示す

図面内容  
 断面詳細図

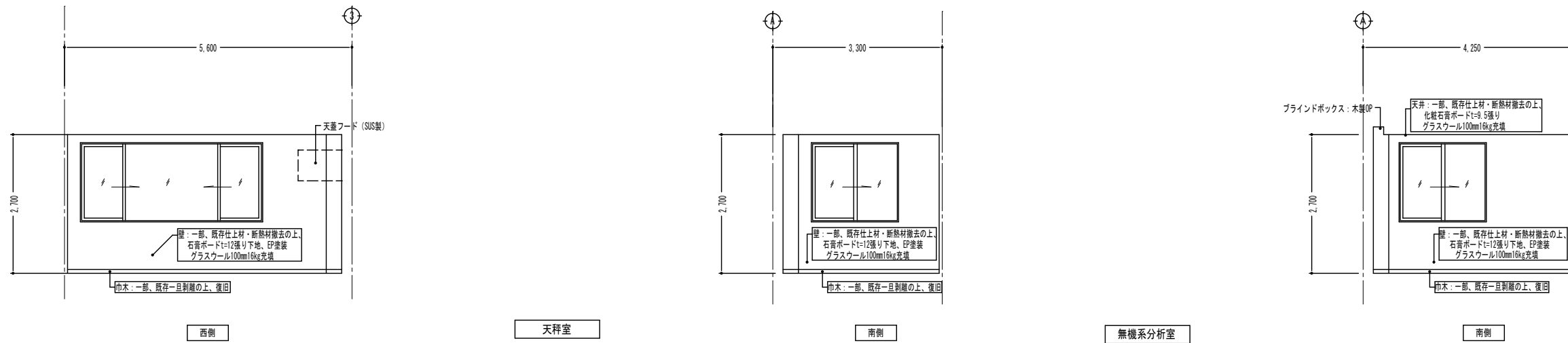
<p>符号・数 位置</p> <p>SSD-01 風除室</p> <p>01</p> <p>SSD-02 風除室</p> <p>01</p> <p>SSD-06 フロアポンプ庫 特殊ガスポンプ庫</p> <p>02</p> <p>SSD-03 観音検査室</p> <p>01</p> <p>SSD-04 理科学試験室 機器分析室</p> <p>05</p> <p>SSD-05 廊下</p> <p>01</p>							
<p>形式</p> <p>材質</p> <p>仕上</p> <p>硝子</p> <p>金物</p> <p>備考</p>	<p>ハメ殺し欄間 ハメ殺し袖付き両開き扉</p> <p>100</p> <p>ステンレス</p> <p>ヘアライン仕上げ</p> <p>熱線吸収普通板ガラス t=5.0</p> <p>シリリンダー本線の錠</p> <p>ステンレス</p> <p>押棒 フランス落し</p>	<p>ハメ殺し欄間 ハメ殺し袖付き両開き扉</p> <p>100</p> <p>ステンレス</p> <p>ヘアライン仕上げ</p> <p>熱線吸収普通板ガラス t=5.0</p> <p>錠</p> <p>ステンレス</p> <p>押棒 フランス落し</p>	<p>両開き扉</p> <p>100</p> <p>スチール</p> <p>QP仕上げ</p> <p>-</p> <p>シリリンダー本線の錠</p> <p>ステンレス</p> <p>押り玉 フランス落し</p>	<p>両袖片引き窓</p> <p>70</p> <p>アルミ</p> <p>シルバー</p> <p>熱線吸収普通板ガラスt=5.0</p> <p>クレセント</p> <p>-</p> <p>外部三方アルミ縦線 アルミ水切り 内部四方アルミアングル</p>	<p>両袖片引き窓</p> <p>70</p> <p>アルミ</p> <p>シルバー</p> <p>熱線吸収普通板ガラスt=5.0</p> <p>クレセント</p> <p>-</p> <p>外部三方アルミ縦線 アルミ水切り 内部四方アルミアングル</p>		
<p>符号・数 位置</p> <p>SSD-06 有機系前処理室</p> <p>01</p> <p>SSD-07 事務室</p> <p>01</p> <p>SSD-08 理科学試験室 事務室</p> <p>02</p> <p>SSD-09 渡り廊下</p> <p>02</p> <p>SSD-11 有機系分析室1・2</p> <p>02</p> <p>SSD-12 1階天秤室 有機系分析室 有機系前処理室 有機系分析室1</p> <p>05</p> <p>SSD-13 階段室</p> <p>01</p>							
<p>形式</p> <p>材質</p> <p>仕上</p> <p>硝子</p> <p>金物</p> <p>備考</p>	<p>片引き窓</p> <p>70</p> <p>アルミ</p> <p>シルバー</p> <p>熱線吸収普通板ガラスt=5.0</p> <p>クレセント</p> <p>-</p> <p>外部三方アルミ縦線 アルミ水切り 内部四方アルミアングル</p>	<p>片引き窓</p> <p>70</p> <p>アルミ</p> <p>シルバー</p> <p>熱線吸収普通板ガラスt=5.0</p> <p>クレセント</p> <p>-</p> <p>外部三方アルミ縦線 アルミ水切り 内部四方アルミアングル</p>	<p>片引き窓</p> <p>70</p> <p>アルミ</p> <p>シルバー</p> <p>熱線吸収普通板ガラスt=5.0</p> <p>クレセント</p> <p>-</p> <p>外部三方アルミ縦線 アルミ水切り 内部四方アルミアングル</p>	<p>外側し三連窓</p> <p>70</p> <p>アルミ</p> <p>シルバー</p> <p>熱線吸収普通板ガラスt=5.0</p> <p>-</p> <p>ステンレス</p> <p>外部三方アルミ縦線 アルミ水切り 内部四方アルミアングル</p> <p>壁埋込奥上げオペレーター装置</p>	<p>片引き窓</p> <p>70</p> <p>アルミ</p> <p>シルバー</p> <p>熱線吸収普通板ガラスt=5.0</p> <p>クレセント</p> <p>-</p> <p>外部三方アルミ縦線 アルミ水切り 内部四方アルミアングル</p>	<p>片引き窓</p> <p>70</p> <p>アルミ</p> <p>シルバー</p> <p>熱線吸収普通板ガラスt=5.0</p> <p>クレセント</p> <p>-</p> <p>外部三方アルミ縦線 アルミ水切り 内部四方アルミアングル</p>	<p>外側し欄間付ハメ殺し窓</p> <p>70</p> <p>アルミ</p> <p>シルバー</p> <p>熱線吸収普通板ガラスt=5.0</p> <p>クレセント</p> <p>ステンレス</p> <p>壁埋込奥上げオペレーター装置</p>
<p>符号・数 位置</p> <p>SSD-15 女子便所</p> <p>01</p> <p>SSD-16 男子便所</p> <p>01</p> <p>SSD-17 事務室</p> <p>01</p>							
<p>形式</p> <p>材質</p> <p>仕上</p> <p>硝子</p> <p>金物</p> <p>備考</p>	<p>渡り出し窓</p> <p>70</p> <p>アルミ</p> <p>シルバー</p> <p>F (7) 4.0</p> <p>カムラッチハンドル</p> <p>渡り出しアーム</p> <p>外部三方アルミ縦線 アルミ水切り 内部四方アルミアングル</p>	<p>渡り出し窓</p> <p>70</p> <p>アルミ</p> <p>シルバー</p> <p>Ⅱ (7) 6.8</p> <p>カムラッチハンドル</p> <p>渡り出しアーム</p> <p>外部三方アルミ縦線 アルミ水切り 内部四方アルミアングル</p>	<p>片引き窓</p> <p>70</p> <p>アルミ</p> <p>シルバー</p> <p>Ⅱ (7) 6.8</p> <p>カムラッチハンドル</p> <p>外部三方アルミ縦線 アルミ水切り 内部四方アルミアングル</p>				



玄関・ホール



理科学試験室



細菌検査室

西側

天秤室

南側

無機系分析室

南側

管理建築士	承認	検図	製図	改定番号	改定月日	改定内容

特記

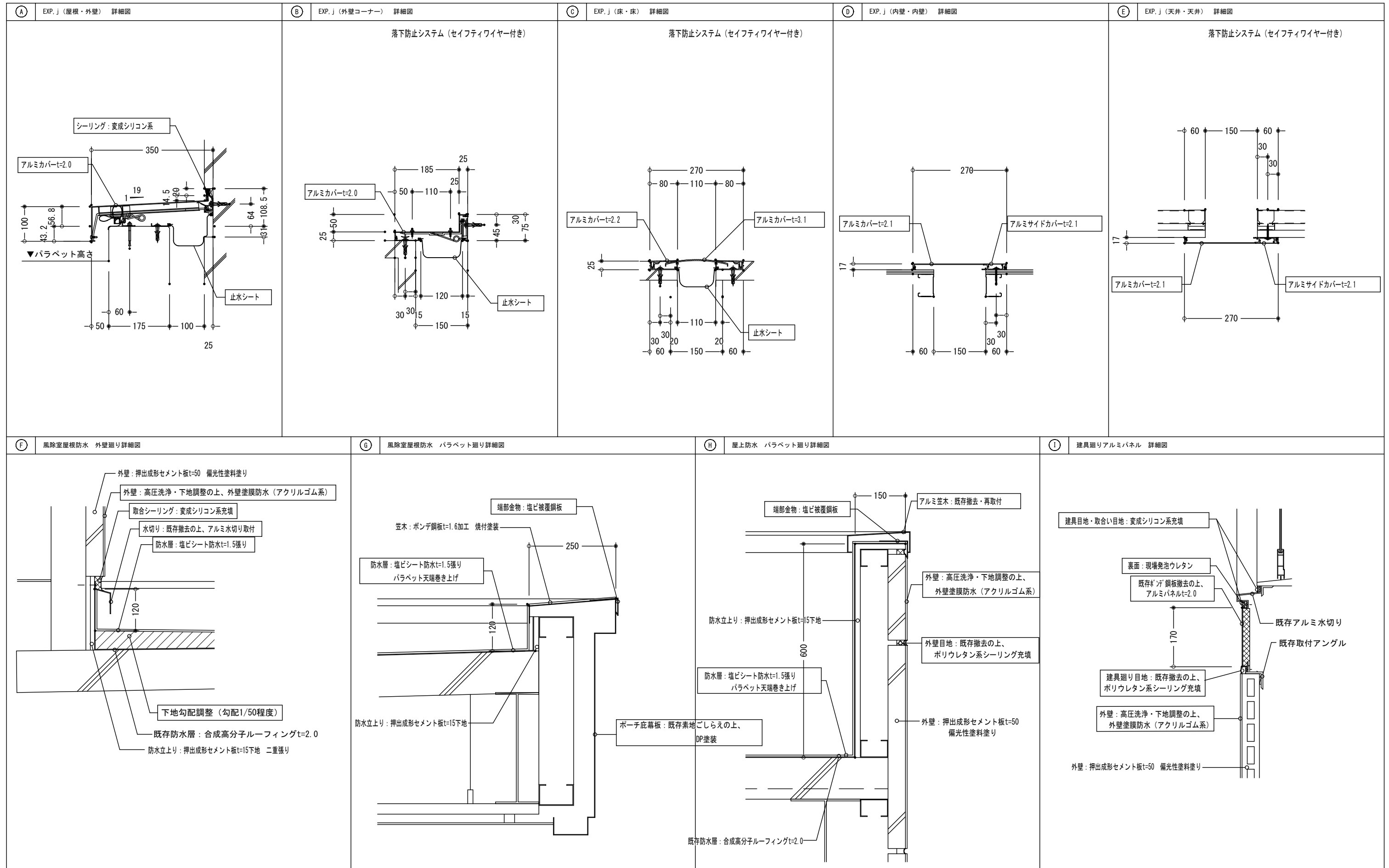
□ : 囲み箇所は改修内容を示す

図面内容

展開図

縮尺  
A3  
1:100

業務番号
建築意匠
図面番号 A-16 枚の内 12



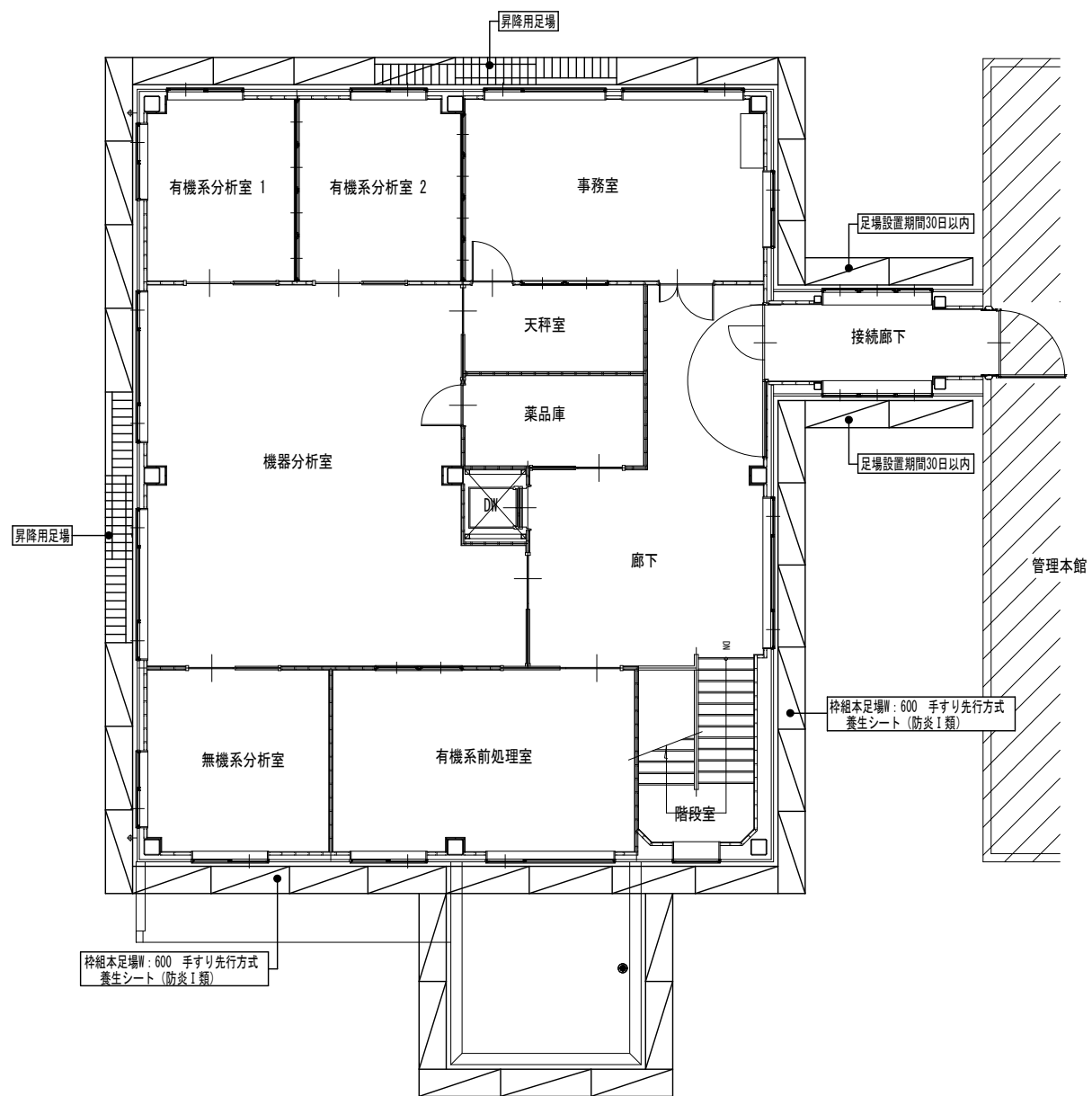
管理建築士	承認	検閲	製図	改定番号	改定月日	改定内容

特記  
 : 囲み箇所は改修内容を示す

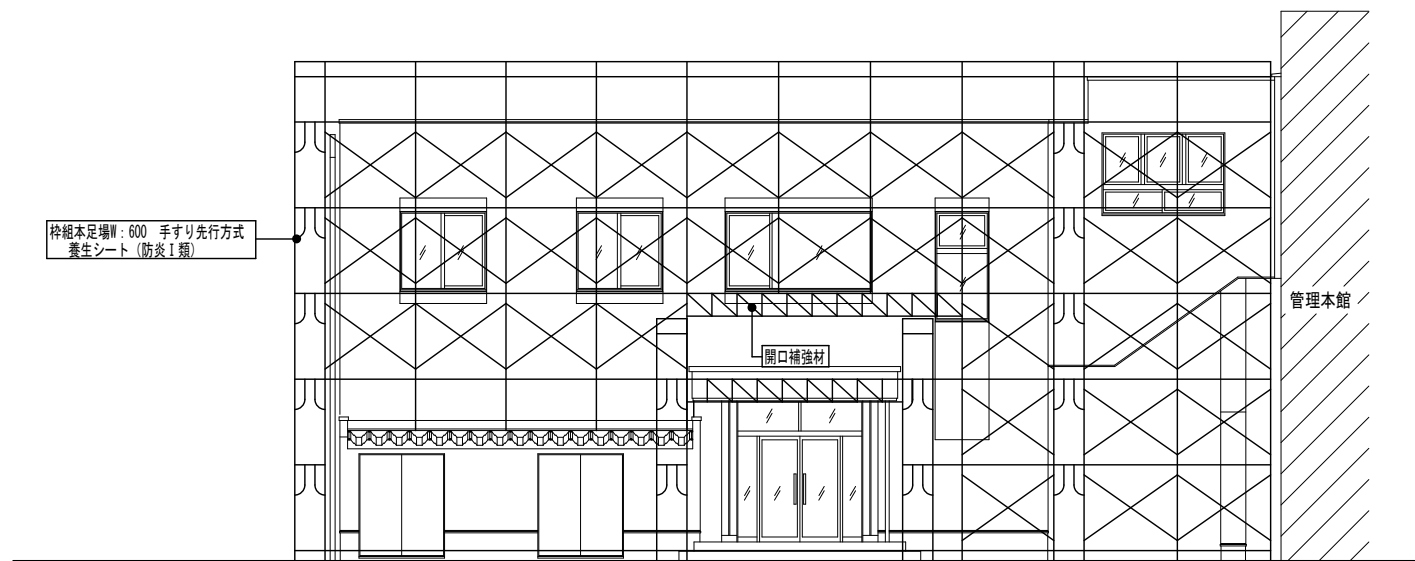
図面内容  
 部分詳細図

縮尺 A3 1:10	業務番号 図面区分 建築意匠
図面番号 A-16 枚の内 13	

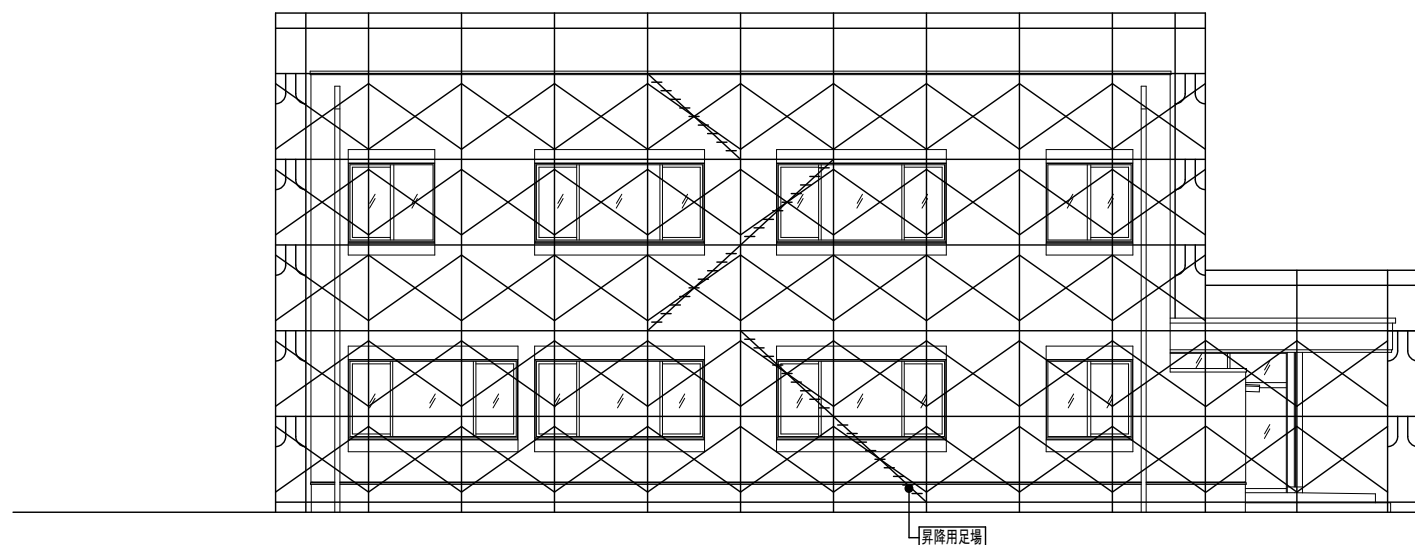




仮設計画平面図



仮設計画東側立面図



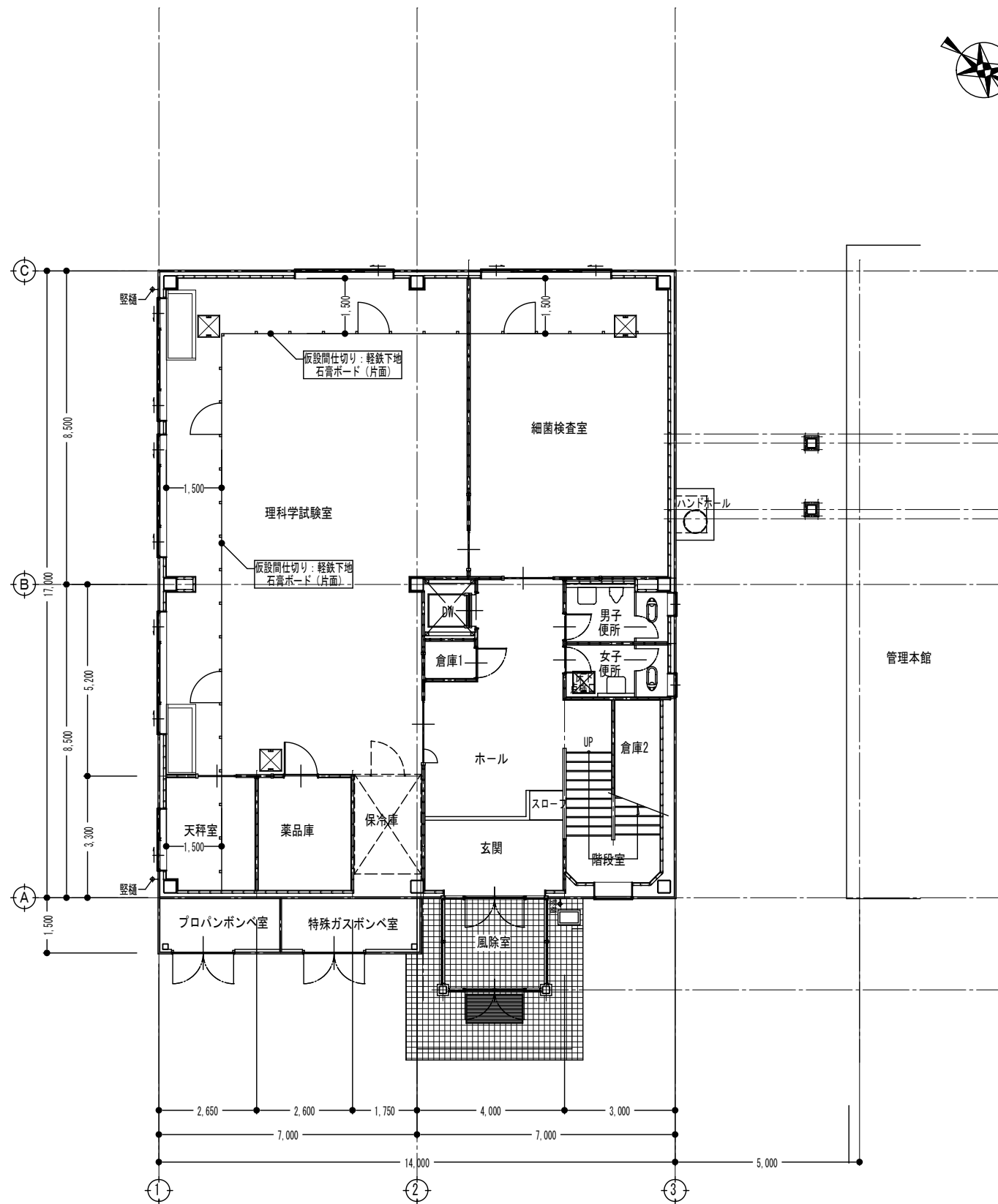
仮設計画南側立面図

管理建築士	承認	検閲	製図	改定番号	改定月日	改定内容

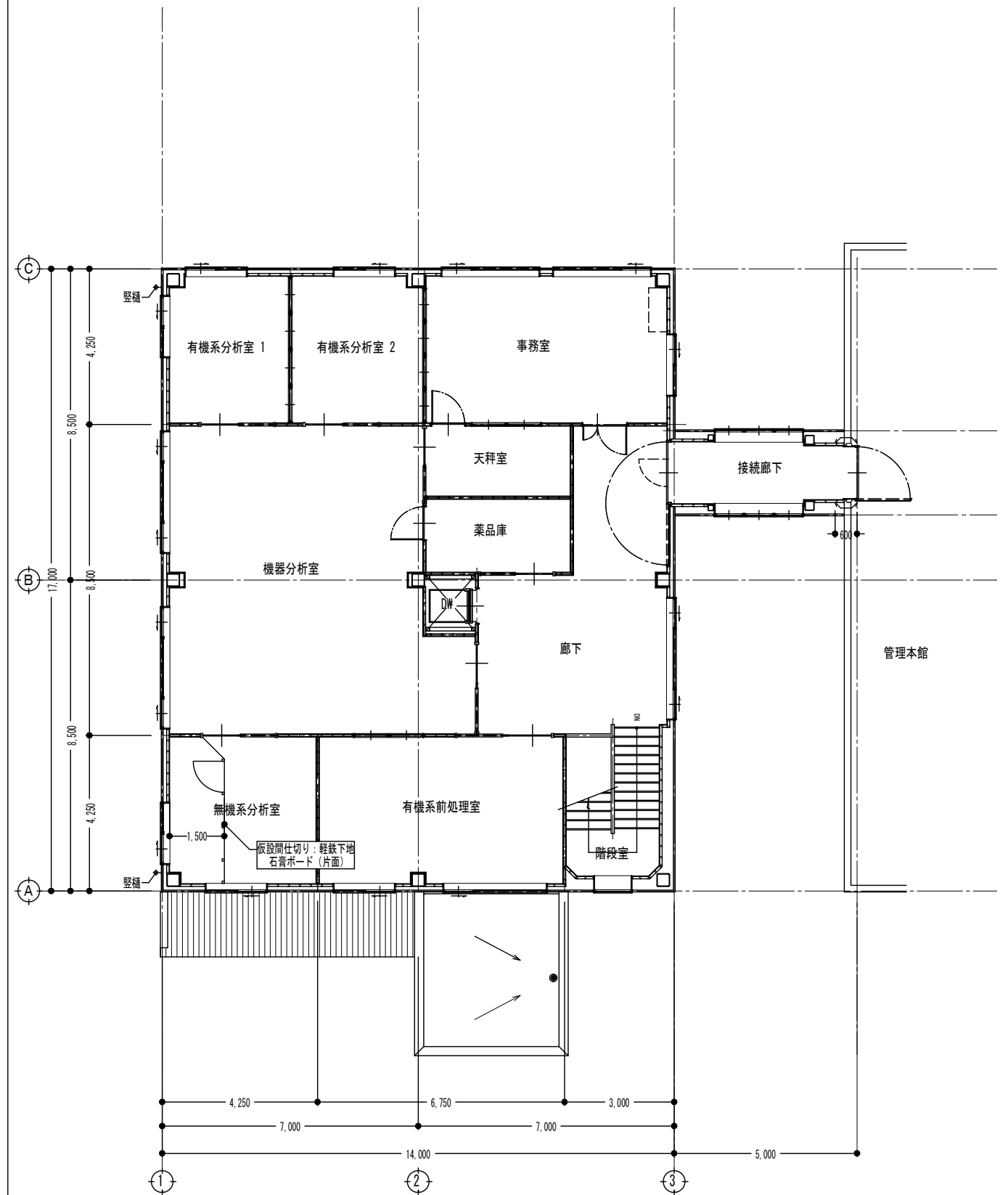
特記

図面内容  
仮設計画図1  
(参考図)

縮尺 A3 1:150	業務番号 建築意匠
図面番号 A-16 枚の内 15	



1階平面図



2階平面図

管理建築士	承認	検図	製図	改定番号	改定月日	改定内容

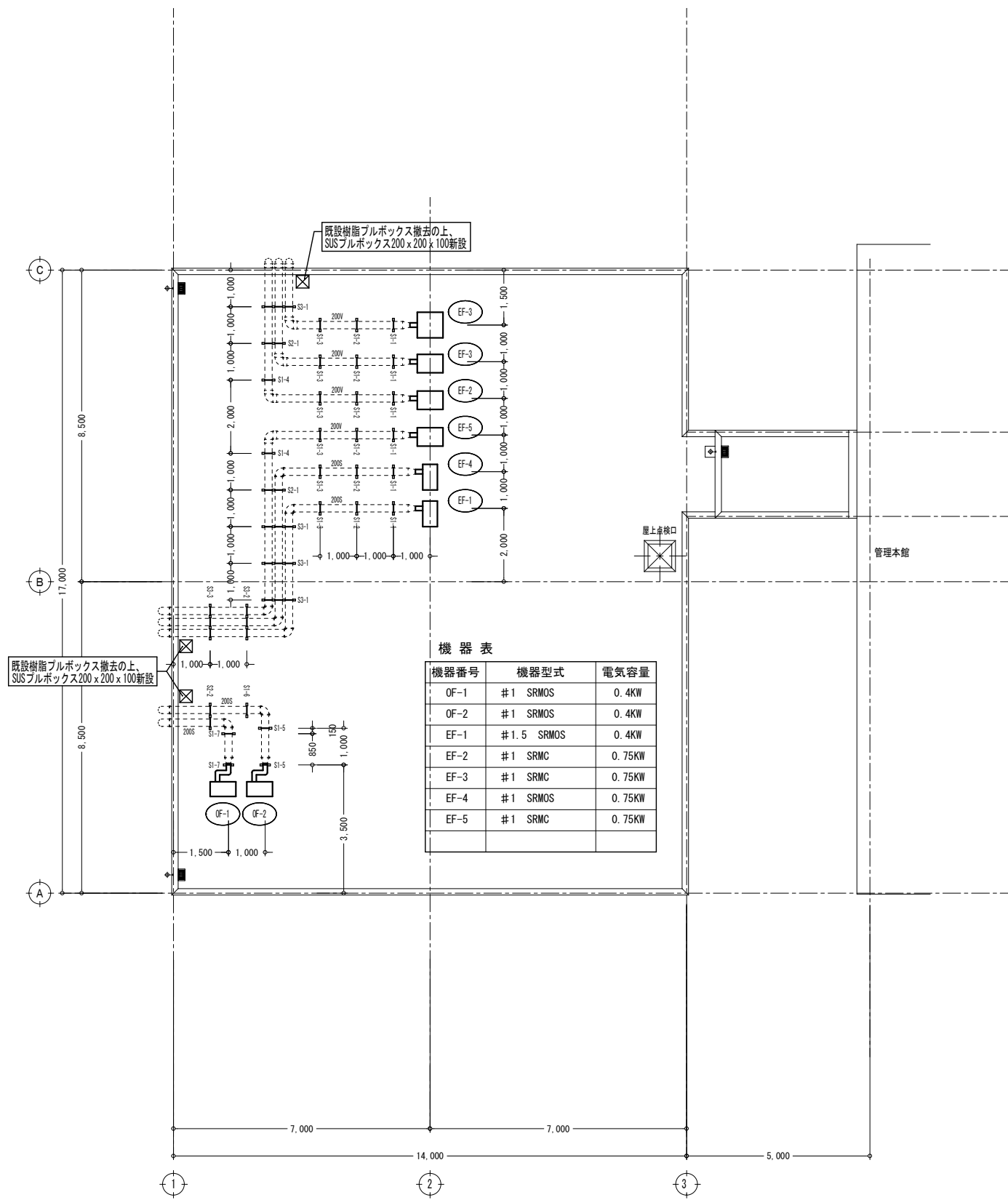
特記

図面内容

仮設計画図2  
(参考図)

縮尺  
A3  
1:150

業務番号	
図面区分	建築意匠
図面番号	A-16 枚の内 16



改修特記

1. 機器・防振架台・配管架台は撤去し、防水工事後に再取付けとする。
2. 機器・防振架台・配管架台のアンカー設置は建築工事とする。
3. 機器接続部のたわみ継手は撤去・新設とする。
4. 既設PB200×200×100(WP)は撤去の上、PB200×200×100(SUS)新設。

屋根伏図

機械設備改修工事 特記仕様書

I. 工事概要

1. 工事場所 岩手県宮古市長町一丁目 地内
2. 建物概要

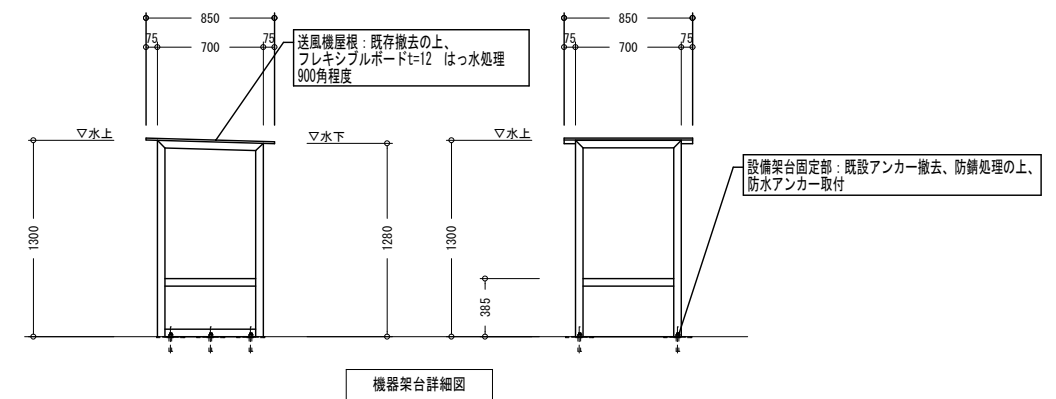
建物名称	構造	階数			延面積(m <sup>2</sup> )	消防法施行令別表第1の区分	備考
		地上	地下	塔屋			
水質検査センター	S造	2	—	—	504.60m <sup>2</sup>		

II. 工事仕様

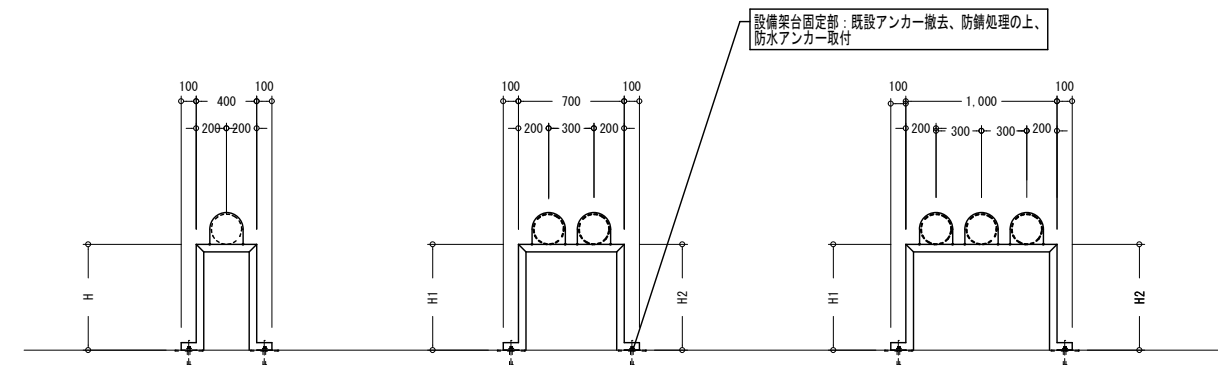
1. 共通仕様

(1) 図面及び本特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の下記仕様書等のうち、○印がついたものを適用する。

- 公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（最新版）
- 公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）（最新版）
- 公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）（最新版）



機器架台詳細図



配管架台詳細図

	H	数量
S1-1	690	6
S1-2	680	6
S1-3	670	6
S1-4	655	2
S1-5	725	2
S1-6	730	1
S1-7	735	2

	H1	H2	数量
S2-1	725	720	2
S2-2	740	740	1

配管架台詳細図

	H1	H2	数量
S3-1	725	715	4
S3-2	730	730	1
S3-3	740	740	1

管理建築士	承認	検図	製図	改定番号	改定月日	改定内容

特記

図面内容
屋上空調設備図・詳細図

縮尺	業務番号
A3 1:150	
図面区分	機械設備
図面番号	Ⅱ-01 枚の内 01